

競技注意事項

- 1 本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
- 2 練習は、バックストレートのレーン及び競技場内外周を競技に支障がないように使用してもよい。尚、競技場内は競技者以外立ち入ることができない。公園内の広場での練習またはテントを張ることは禁止とする。
- 3 選手の出場届出について
 - ①競技者の受付は、その競技の開始時間**10分前**までに、集合完了して点呼を受ける。ただし、トラック種目はスタート地点、フィールド競技は試技場所とする。
 - ②点呼を完了した後、勝手に集合場所を離れてはならない。
 - ③他の種目に出場中の場合には、監督または代理人が必ず申し出ること。
 - ④点呼を受けていない者や時間に遅れた場合は、競技に出場できない。また、欠場する場合には、関係審判員に必ず申し出ること。
 - ⑤リレーのオーダー（走順）は、**競技開始時間の1時間30分前までに**本部へ提出する。欠場の場合も欠場と記入し本部へ提出すること。
 - ⑥男女混合リレーは男子2名女子2名で編成しオーダーを提出する。どの走る区間を走るかは、それぞれのチームで決める。
- 4 アスリートビブスは、背と胸にしっかりととめること。跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでよい。
トラック競技は写真判定のため、必ずレーンナンバー（腰番号）を短パンの右側につけて出場すること。ただし、リレーはアンカー（第4走者）のみでよい。また、長距離走の10レーン以上は、競技者・出発係が用意して貸し出しする。（9レーンは6を逆さまにつける。）
- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
- 6 スタートは、イングリッシュコマンドで行う。
 - 不正スタートについて
 - ・小学生種目は1人2回のフライングで失格とする。
 - ・中学生、高校・一般種目は1回のフライングで失格とする。
- 7 トラック競技でフィニッシュラインに到着した選手及び、フィールド競技終了者は審判役員の指示に従い退場すること。
- 8 フィールド競技について
 - ①走幅跳、砲丸投、やり投、ジャバリックスロー、ジャバリックボール投は、すべて3回の試技とする。
 - ②走高跳バーの上げ方は次の通りとする。
 - ・中学・一般男子 練習1m30 試技開始 1m35～1m50まで5cm 以降3cm上がりとする。
 - ・中学・一般女子 練習1m20 試技開始 1m25～1m40まで5cm 以降3cm上がりとする。※ただし天候、その他の理由により変更する場合もある。
- 9 スパイクシューズの使用を認める。但し全天候型専用ピン9mmまでとする。
- 10 競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。（やりについては検定を行います。）
- 11 事故防止のため、短距離走とリレーでは、全選手が静止するまで自分のコースから出ないこと。
- 12 各種目3位までの入賞者は、競技終了後表彰をするので、決勝結果の発表後すぐに集合すること。
- 13 医務室は設けてあるが、応急処置のみとする。
- 14 ゴミ、空き缶などは、各自必ず持ち帰ること。（場内にゴミ箱はありません。）
- 15 プログラムの訂正などは、各チームの代表者を通じて大会総務に申し出る。